

南小だより

学校教育目標 のびよう ともに たくましく

令和5年9月28日 No. 8
 亀山市立亀山南小学校
 文責：校長 高宮綾子

1学期(4月18日)に実施した6年生対象の「全国学力・学習状況調査」
 4・5年生対象の「みえスタディ・チェック」の調査概況及び児童の学習
 状況や生活習慣についてお知らせします。

なお、それぞれの調査で測ることができるのは、あくまでも「学力」の
 特定の一部、学校教育活動の一側面を示すものでしかありませんが、調
 査結果を一つの指標として、学校では分析・検証し、子どもたちの確かな
 学力・豊かな心の育成に向け、引き続き指導に取り組んでまいります。



| | 国語 | 算数 |
|------|------|------|
| 亀山南小 | 66 | 59 |
| 亀山市 | 65 | 58 |
| 三重県 | 67 | 62 |
| 全国 | 67.2 | 62.5 |

全国学力・学習状況調査の結果より

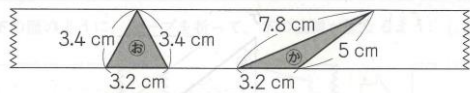
【国語で正答率の低かった問題】

- ・文脈に即して正しく漢字を書く問題(特に(ア)いがい「意外」)【正答率25%】「以外」という誤答が多かったです。
- ・複数の情報を整理して自分の考えをまとめる問題【正答率43.8%】特に、3つの条件をクリアして書く難しさがありました。

【算数で正答率の低かった問題】

- ・二つの三角形の大小についてわかることを選び、選んだわけを書く問題【正答率12.5%】
- テープの幅がそのまま二つの三角形の高さとなり、底辺も等しいので、面積は等しくなりますが、底辺以外の残りの辺(7.8cmや5cm)を高さととらえ、**①**の面積の方が大きい」という**②**を選んだ誤答が多かったです。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような**①**と**②**の2つの三角形をつくります。



上の**①**と**②**の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
 下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
 また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- ①の面積のほうが大きい。
- ②の面積のほうが大きい。
- ①と②の面積は等しい。
- ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

【正答】3 (わけ) 三角形の面積は底辺×高さ÷2で求めることができます。**①**と**②**の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。**①**と**②**の高さは、テープの幅がどこも同じなので等しいです。だから、**①**と**②**の面積は等しいです。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り込んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、**ア**いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと比べてみました。**ウ**さんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼの雑草の量 (単位: 10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。)

| 日 | 農家の田んぼの雑草の量 | 学校の田んぼの雑草の量 |
|-------|-------------|-------------|
| 7月1日 | 2 | 1 |
| 7月5日 | 3 | 2 |
| 7月15日 | 4 | 5 |

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【条件】

- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ「農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量」と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

「川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。」

「学校の米作りに入る内容を」

【正答例】グラフからわかるように、学校の田んぼでは、雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられて、しょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草とりの回数と人数を増やすことにしました。

みえスタディ・チェックの結果より

【国語で正答率の低かった問題】

- ・文脈に即して正しい漢字を書く問題
5年「(略)育て方にかんしん(関心)を持ちました。」「感心」という誤答が多かったです。
- 4年「えんそく(遠足)」「さむい(寒い)」書いていても、1画多い、少ないなど細部に誤りが多かったです。
- ・文章の内容を読み取り、条件に合わせてまとめる問題
6年生同様条件をすべてクリアして書く難しさがありました。
- ・文法(主語・述語・修飾語)に関する問題

【算数で正答率の低かった問題】

- ・割合、時刻・時間に関する問題
- ・式の意味を理解しているか問う問題↓

答えが $12 \div 3$ の式でもとめられる問題をすべて選びましょう。

- ア あめが12こあります。何かか食べたら残り3こになりました。食べたあめは、何こですか。
- イ 12このあめを同じ数ずつ3人に分けます。あめは一人分何こになりますか。
- ウ 12人の子どもにあめを3こずつ分けます。あめは全部で何こいらいますか。
- エ 12個のあめを3こずつふくろにつめます。あめを全部つめるには、ふくろはいくついらいますか

【正答 イ、エ】

課題解決に向けて授業では・・・

- ・文脈に即した正しい漢字が書けるように、漢字学習では国語辞典やドリルを使い、漢字の意味理解や漢字を使った言葉、文作りなどに取り組む。
- ・eライブラリやプリント等を活用し、これまでの学年や単元で学習した内容の復習に継続的に取り組む。
- ・1日1回以上は、ペアやグループで自分の考えを伝え合う活動を取り入れる。
- ・式を立てるとき、問題の場面を図や絵、言葉に表して、その状況を説明する活動を充実する。
- ・目的や条件を意識させ、作文やふりかえりを書かせる。

生活や学習の様子について～全国学調・みえスタより～

「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」とともに、教科学習の他に、子どもたちの生活や学習の様子などをアンケート形式で問う調査が行われました。2つの調査に共通する質問項目を中心に、結果と特徴をまとめました。※数値は、各質問に「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」を選んだ4・5・6年生の子どもたちの肯定的回答(%)です。

| 【学習に対する興味や授業理解度に関すること】 | 肯定的回答 |
|------------------------|-------|
| 国語の勉強が好き | 71.9 |
| 国語の授業内容がわかる | 87.7 |
| 算数の勉強が好き | 63.2 |
| 算数の授業内容がわかる | 80.7 |
| 授業では、自分で考え自分から取り組んでいる | 73.7 |

| 【基本的な生活習慣・学習習慣等に関すること】 | 肯定的回答 |
|------------------------|-------|
| 毎日同じくらいの時刻に寝ている | 75.4 |
| 毎日同じくらいの時刻に起きている | 91.2 |
| 家で自分で計画して学習している | 77.2 |
| 平日、学習を1時間以上している | 50.8 |
| 休日、学習を1時間以上している | 45.6 |
| 読書時間10分以上している | 68.4 |

| 【自己有用感、社会への関心等に関すること】 | 肯定的回答 |
|---------------------------------|-------|
| 自分には良いところがある | 82.5 |
| 将来の夢や目標を持っている | 73.7 |
| 学校に行くのは楽しい | 89.5 |
| 地域の行事への参加している | 77.2 |
| ★【4・5年】地域や社会をよくするために何をすべきか考えている | 64.9 |
| ★【6年】地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う | 100.0 |

起きる時刻に比べ、寝る時刻がやや不規則な傾向にあります。毎日元気に過ごすためにも、バランスの良い食事・十分な睡眠・適度な運動で、生活のリズムを整えることが大切です。

家庭学習を習慣化することで、学習内容の定着や習熟、自ら進んで学ぶ意欲の向上につながります。

2学期も望ましい生活習慣の確立に向け、10月に「チャレンジ週間」の取組を行います。ご家庭におかれましても、お子さんへの声掛けや見守り等、温かなサポートをよろしくお願いいたします。

自己有用感・自己肯定感は、子どもたちの学習や生活の原動力です。子どもたちが様々なことに挑戦してみよう、やってみようとする意欲や取り組んでいる過程のがんばりを認め、励まし、褒め、子どもたちの自己有用感、自己肯定感を育てていきます。

学校では、生活科・総合的な学習の時間を中心に、地域の“ひと・もの・こと”に学ぶ学習を行っています。地域について学び、自分が住む地域への愛着を育むとともに、地域の一員として自分たちにもできることを考えたり、実践したりできるよう引き続き取り組んでいきます。

★地域・社会に関する質問は、みえスタと全国学調とニュアンスが違いましたので、項目を分けました。